

企業経営者の景気見通し調査票

2023年5月22日 までに 郵送 または

一般財団法人静岡経済研究所

	直接「FAX)()54-250-8770 、もしくは	Webにて	ご回答願います	TEL : 054-250	-0100 FAX	: 054-250-8770
貴社名					(登録コード) ユーザーID		
所在地		所属部課	夕	メールアドレス			
ご記入者名	_)) // // ()	()
資本金] 1,000万] 5,000万	-	万円超~3,00] 1億円起	00万円以下 _{留~3億円以} ⁻		000万円超~5 3億円超	,000万円以下
従業員数] 10人以了] 51~100		11~ 30人 101~300人		_	~50人 1人以上	
Ⅰ. 景気について		方の見通しにより、該当欄		チェック心をつ			
		73 - 73 - 100			上 昇	横ばい	下 降
		2023年1~6月に比べて	2023年7~	12月は			
国内景	気	2023年7~12月に比べて					
貴社が属する		2023年1~6月に比べて	2023年7~	12月は			
業界の景気	į,	2023年7~12月に比べて	2024年1~	6月は			
貴社の業績	2023年1~6月に比-		2023年7~	12月は			
東はり未修	頁 仁 <i>の</i> 亲 顔 2023年7~12月に			6月は			
Ⅱ、貴社について	の見通し(該当欄のいずれかにチェッ	ク心をつけてく	(ださい)			_
		該当欄のいずれかにチェッ -(は2023年6月末)に比		L			
					横ばい	若干 減少•下降	減少·下降
	1~6月ま <i>た</i>		<u>べての見通</u>	し 若干	横ばい		減少·下降
A. 前期(2023年1	1~6月また 額	-は2023年6月末)に比	べての見通 増加・上昇	し 若干 増加・上昇		減少・下降	
A. 前期(2023年1 ① 売 上	1~6月また 額	- は2023年6月末)に比 2023年7~12月は	べての見通 増加・上昇	し 若干 増加・上昇		減少・下降	
A. 前期(2023年1 ① 売 上 ② 販 売(出 布	1~6月また 額 荷)価格 数 量	- は2023年6月末)に比 2023年7~12月は 2023年12月末は	ででの見通 増加・上昇	岩干増加・上昇		減少・下降	
A. 前期(2023年1 ① 売 上 ② 販 売 (出 布 ③ 販 売	1~6月また 額 新)価格 数 量 額	- は2023年6月末)に比 2023年7~12月は 2023年12月末は 2023年7~12月は	ででの見通 増加・上昇	世紀 一 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		減少・下降	
A. 前期(2023年1 ① 売 上 ② 販 売 (出 布 ③ 販 売 ④ 受 注	1~6月また 額 新)価格 数 量 額	2023年6月末)に比 2023年7~12月は 2023年12月末は 2023年7~12月は "	ででの見通 増加・上昇	世紀 一 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		減少・下降	
A. 前期(2023年1 ① 売 上 ② 販 売 (出 布 ③ 販 売 ④ 受 注 ⑤ 生 産	1~6月また 額 新)価格 数 量 額	2023年7~12月は 2023年7~12月は 2023年12月末は 2023年7~12月は "	ででの見通 増加・上昇	世紀 一 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		減少・下降	
A. 前期(2023年1 ① 売 上 ② 販売(出布 ③ 販 売 ④ 受 注 ⑤ 生 産 ⑥原材料(仕)	1~6月また 額 市) 価格 数 量 入)価格 金	2023年7~12月は 2023年7~12月は 2023年12月末は 2023年7~12月は " " 2023年12月末は	べての見通 増加・上昇 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	世		減少・下降	
A. 前期(2023年1 ① 売 上 ② 販 売 (出 布 ③ 販 売 ④ 受 注 ⑤ 生 産 ⑥原材料(仕 ⑦ 賃	1~6月また 額 市) 価格 数 量 入)価格 金	2023年7~12月は 2023年7~12月は 2023年12月末は 2023年7~12月は " " 2023年12月末は	べての見通 増加・上昇 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	世		減少・下降	
A. 前期(2023年1 ① 売 上 ② 販売(出布 ③ 販売 ④ 受 注 ⑤ 生 産 ⑥原材料(仕) ⑦ 賃 ⑧製品(商品)	1~6月また 額 新 数 基 入 在 か	2023年7~12月は 2023年7~12月は 2023年12月末は 2023年7~12月は " " 2023年12月末は "	での見通 増加・上昇 日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	世		減少・下降	
A. 前期(2023年1 ① 売 上 ② 販売(出布 ③ 販売 ④ 受 注 ⑤ 生 産 ⑥原材料(仕) ⑦ 賃 ⑧ 製品(商品) ⑨ 雇 用 ⑩ 設備	1~6月また 有) 額 析) 数 面 量 人) 在 本 数	2023年7~12月は 2023年7~12月は 2023年12月末は 2023年7~12月は " " 2023年12月末は " "	での見通 増加・上昇 日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	し 若干 増加・上昇 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		減少・下降	

B. 前年	司期(2022年	軍7~12	月または2022年12月				* T	
				増加·上昇	若干 増加・上昇	横ばい	若干 減少•下降	減少・下降
① 売	上	額	2023年7~12月は					
② 販	売 (出荷)	価格	2023年12月末は					
③ 販	売 数	量	2023年7~12月は					
④ 受	注	額	11					
⑤ 生	産	量	11					
⑥ 原	才料(仕入))価格	2023年12月末は					
⑦ 製	品(商品)在	E庫数	IJ					
8 経	常利	益	2023年7~12月は					
Ⅲ 貴紂	における現	在の経	堂上の問題占 (該当	する項目すべっ	てにチェックロ	をつけてくださ	51.7)	
	Ⅲ. 貴社における 現在の経営上の問題点 (該当する項目すべてにチェック②をつけてください) □ 売上(受注)不振 □ 販売(出荷)価格の低迷							
	生産(受	(注) 能	力の低下・不足] 原材料や	仕入品の価	格上昇・調道	
	賃金(人	.件費)	の上昇		〕物流費、	光熱費など	の上昇	
	製品(商	i品)在原	車の増大] 人手不足			
	資金不足	· 資金(の調達難] 後継者問	題		
	その他	(具体的)に:)
TV 음성	が 今後重	国する終	経営戦略 (該当する項目	ヨさべてにチェ	ッカ ⊕をつけて	てください)		
	合理化・ コス		_	売)能力の拡大		37.2007 周達体制の改善	44	
	技術力・企画		_	サービスの高付加	_		。 ごス開発への注	き力
_	新分野・新規		_	・販路の開拓	_	人材獲得・育局		
	動き方改革の	推進	—		_	資金繰りの円滑		
	毎外進出など	国際化の	— 推進 □ D X • I	T化の推進		省力化・省人化	どの推進	
	品質管理の強	化	□ ブランド・	企業イメージの	向上	環境問題・脱炭	表への取組み	
	コンプライアン	ノス 体制の引	並化 □ 災害・感染	染症リスク対策	受の強化 □ 雪	事業承継、後 維	述 者育成	
	SDGs〜の対	応	□ その他 ())

= ご協力ありがとうございました =

「県内企業の事業継続に関するアンケート」調査票

弊所では月刊誌「SERI 調査月報 8・9月号」において、県内企業の事業継続に関する調査を企画して おります。つきましては、皆様に以下のアンケートにご協力いただきたくお願い申し上げます。

回答後は、5月22日(月)までに、Webまたは同封の「企業経営者の景気見通し調査(B.S.I.)」とあわ せてご郵送(または FAX 054-250-8770) にてご返送ください。

本調査に関するお問合せ 静岡経済研究所 研究部 田原 TEL 054-250-8750

Q 1. 貴社では以下の事象(リスク) a ~ i により、被災・影響を受けたことがありますか(受けていますか)。 また、事業を継続する上で、コロナ禍前から関心があるリスクおよび現在、関心があるリスクについて、 該当する番号すべてに〇をつけてください。

	a 大規模地震	(大雨・台風等)	(新型コロナ等)	(半導体不足等)	の高騰・供給不安 ロース・	サイバー攻撃 ・	g 為替の急変動	h 法制度の変更 (2024年問題等)	i その他
被災・影響を受けたことがある(受けている)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
コロナ禍前から関心が ある	1	2	3	4	5	6	7	8	9
現在、関心がある	1	2	3	4	5	6	7	8	9

- Q2. 貴社では、事業継続計画(BCP)を策定していますか。また、発動実績の有無および発動したことが ある場合は、効果やその後の見直し状況についても教えてください。
 - 1. 策定済みで、発動実績あり
 - \rightarrow 効果 (a. 大いにあった b. ある程度あった c. あまりなかった d. 全くなかった) → その後の見直し (a. 見直した b. 見直しを検討 c. 見直す予定はない)
 - 2. 策定済みだが、発動実績はない 3. 策定を検討している 4. 策定する予定はない
- Q3.コロナ禍以降、貴社が事業を継続する上で、デジタル技術の活用を進めた取組みについて、該当する番号 すべてに〇をつけてください。
 - 1. 従業員の安否確認の迅速化
- 2. データバックアップの強化 3. サプライチェーンの強靭化

)

- **4**. 業務引継ぎの円滑化 (電子マニュアル等) **5**. その他 (

Q4.事業継続に必要な下記の取組み内容について、貴社の重視度合いと対応状況を教えてください。(それぞ れの取組みについて、該当する番号に〇)

具体的な取組み内容	(A) 重視し ており、十分 対応している	るが、十分には対	
a 従業員の安否確認手段の整備	1	2	3
b 事業所の安全確保	1	2	3
c 情報システムのバックアップ	1	2	3
d 情報セキュリティの強化	1	2	3
e 緊急時の指揮・命令系統の構築	1	2	3
f 調達先・仕入先の分散	1	2	3
g 生産・物流拠点の分散	1	2	3
h 外部代替先の確保 (業務委託、販売場所等)	1	2	3
i 予備在庫の確保	1	2	3
j 物流手段の複数化	1	2	3
k 事業中断時の資金計画策定	1	2	3
1 業務の復旧訓練	1	2	3
m 代替要員の確保・育成	1	2	3
n 多様な働き方の制度化(リモートワークの導入等)	1	2	3